

自然言語処理プログラミング勉強会 1 -1-gram 言語モデル

Graham Neubig 奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST)



言語モデルの基礎



言語モデル?

• 英語の音声認識を行いたい時に、どれが正解?





言語モデル?

• 英語の音声認識を行いたい時に、どれが正解?



• 言語モデルは「もっともらしい」文を選んでくれる



確率的言語モデル

• 言語モデルが各文に確率を与える

$$W_1$$
 = speech recognition system $P(W_1) = 4.021 * 10^{-3}$

$$W_2$$
 = speech cognition system $P(W_2) = 8.932 * 10^{-4}$

$$W_3$$
 = speck podcast histamine $P(W_3) = 2.432 * 10^{-7}$

$$W_4 = スピーチ が 救出 ストン $P(W_4) = 9.124 * 10^{-23}$$$

- P(W₁) > P(W₂) > P(W₃) > P(W₄) が望ましい
 - (日本語の場合はP(W₄) > P(W₁), P(W₂), P(W₃)?)



文の確率計算

• 文の確率が欲しい

W = speech recognition system

• 変数で以下のように表す

 $P(|W| = 3, w_1 = "speech", w_2 = "recognition", w_3 = "system")$



文の確率計算

• 文の確率が欲しい

W = speech recognition system

• 変数で以下のように表す(連鎖の法則を用いて):

```
P(|W| = 3, w_1="speech", w_2="recognition", w_3="system") =

P(w_1="speech" | w_0 = "<s>")

* P(w_2="recognition" | w_0 = "<s>", w_1="speech")

* P(w_3="system" | w_0 = "<s>", w_1="speech", w_2="recognition")

* P(w_4="</s>" | w_0 = "<s>", w_1="speech", w_2="recognition", w_3="system")
```

注: 文頭「<s>」と文末「</s>」記号



確率の漸次的な計算

• 前のスライドの積を以下のように一般化

$$P(W) = \prod_{i=1}^{|W|+1} P(w_i | w_0 \dots w_{i-1})$$

・ 以下の条件付き確率の決め方は?

$$P(w_i|w_0...w_{i-1})$$



最尤推定による確率計算

• コーパスの単語列を数え上げて割ることで計算

$$P(w_i|w_1...w_{i-1}) = \frac{c(w_1...w_i)}{c(w_1...w_{i-1})}$$

i live in osaka . </s>
i am a graduate student . </s>
my school is in nara . </s>

P(live |
$$\langle s \rangle$$
 i) = c($\langle s \rangle$ i live)/c($\langle s \rangle$ i) = 1 / 2 = 0.5
P(am | $\langle s \rangle$ i) = c($\langle s \rangle$ i am)/c($\langle s \rangle$ i) = 1 / 2 = 0.5



最尤推定の問題

• 頻度の低い現象に弱い:

学習:

i live in osaka . </s>
i am a graduate student . </s>
my school is in nara . </s>

<s> i live in nara . </s>

確率計算:

P(nara | < s > i live in) = 0/1 = 0



P(W=<s> i live in nara . </s>) = 0



1-gram モデル

• 履歴を用いないことで低頻度の現象を減らす

$$P(w_i|w_1...w_{i-1}) \approx P(w_i) = \frac{c(w_i)}{\sum_{\tilde{w}} c(\tilde{w})}$$

i live in osaka . </s>
i am a graduate student . </s>
my school is in nara . </s>

P(nara) =
$$1/20 = 0.05$$

P(i) = $2/20 = 0.1$
P() = $3/20 = 0.15$

P(W=i live in nara .) =
$$0.1 * 0.05 * 0.1 * 0.05 * 0.15 * 0.15 = 5.625 * 10^{-7}$$



整数に注意!

• 2つの整数を割ると小数点以下が削られる

```
first_int = 1
second_int = 2

print first_int/second_int

$ ./my-program.py
0
```

• 1つの整数を浮動小数点に変更すると問題ない

print float(first_int)/second_int

```
$ ./my-program.py
0.5
```



未知語の対応

• 未知語が含まれる場合は 1-gram でさえも問題あり

```
i live in osaka . </s> P(nara) = 1/20 = 0.05i am a graduate student . </s> P(i) = 2/20 = 0.1my school is in nara . </s> P(kyoto) = 0/20 = 0
```

- 多くの場合(例:音声認識)、未知語が無視される
- 他の解決法
 - 少しの確率を未知語に割り当てる $(\lambda_{unk} = 1 \lambda_1)$
 - 未知語を含む語彙数を N とし、以下の式で確率計算

$$P(w_i) = \lambda_1 P_{ML}(w_i) + (1 - \lambda_1) \frac{1}{N}$$

未知語の例

- 未知語を含む語彙数: N=10⁶
- 未知語確率: $\lambda_{unk} = 0.05 (\lambda_1 = 0.95)$

$$P(w_i) = \lambda_1 P_{ML}(w_i) + (1 - \lambda_1) \frac{1}{N}$$

P(nara) =
$$0.95*0.05 + 0.05*(1/10^6) = 0.04750005$$

$$P(i) = 0.95*0.10 + 0.05*(1/10^6) = 0.09500005$$

$$P(kyoto) = 0.95*0.00 + 0.05*(1/10^6) = 0.00000005$$



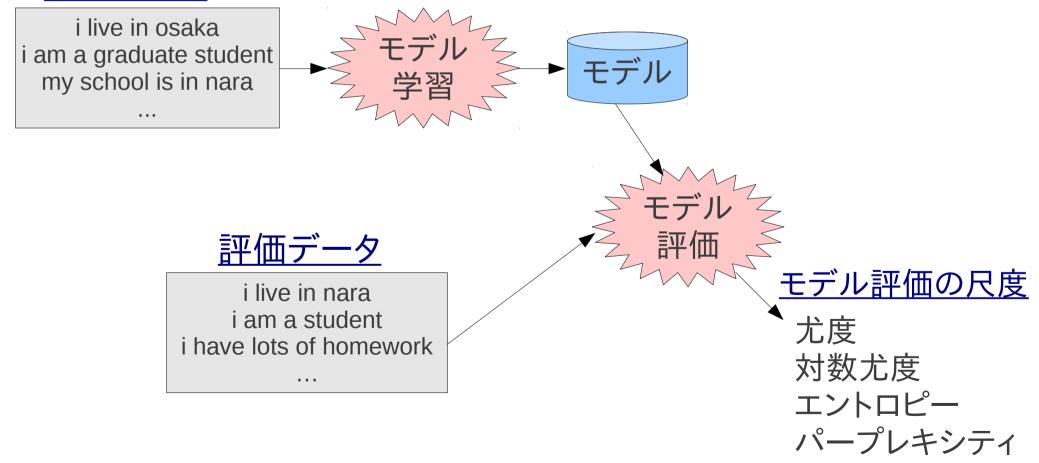
言語モデルの評価



言語モデルの評価の実験設定

• 学習と評価のための別のデータを用意

学習データ





尤度

• 尤度はモデル M が与えられた時の観測されたデータ (評価データ W_{test}) の確率

$$P(W_{test}|M) = \prod_{\mathbf{w} \in W_{test}} P(\mathbf{w}|M)$$

i live in nara

i am a student

my classes are hard

P(w="i live in nara"|M) =

P(w="i am a student"|M) =

P(w="my classes are hard"|M) =

2.52*10⁻²¹

X

3.48*10⁻¹⁹

X

2.15*10⁻³⁴

1.89*10⁻⁷³



対数尤度

- 尤度の値が非常に小さく、桁あふれがしばしば起こる
- 尤度を対数に変更することで問題解決

$$\log P(W_{test}|M) = \sum_{w \in W_{test}} \log P(w|M)$$

i live in nara

i am a student

my classes are hard

log P(w="i live in nara"|M) = -20.58+ -20.58log P(w="i am a student"|M) = -18.45+ -18.45log P(w="my classes are hard"|M) = -33.67

-72.60



対数の計算

• Python の math パッケージで対数の log 関数

```
import math

print math.log(100)  # ln(100)
print math.log(100, 10) # log10(100)

$ ./my-program.py
4.60517018599
2.0
```



エントロピー

エントロピー H は負の底 2 の対数尤度を単語数で割った値

$$\overline{H}(W_{test}|M) = \frac{1}{|W_{test}|} \sum_{w \in W_{test}} -\log_2 P(w|M)$$

i live in nara
i am a student
my classes are hard

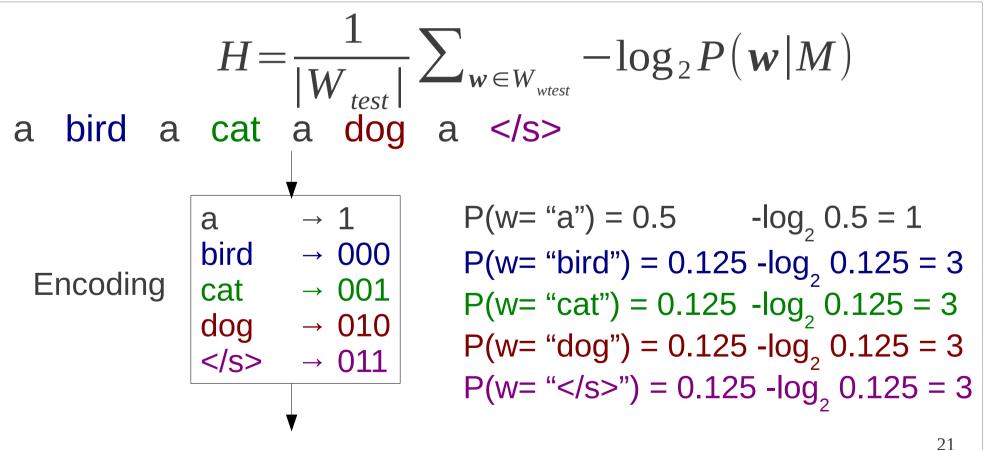
$$\log_2 P(w="i live in nara"|M)=$$
 $\log_2 P(w="i am a student"|M)=$ $68.43 + 61.32 + 61.32 + 111.84$ 単語数:

20.13



エントロピーと情報圧縮

エントロピーHは与えられたデータを圧縮するのに必 要なビット数でもある(シャノンの情報理論により)





パープレキシティ

• 2のエントロピー乗

$$PPL=2^{H}$$

• 一様分布の場合は、選択肢の数に当たる

$$V=5$$
 $H=-\log_2\frac{1}{5}$ $PPL=2^H=2^{-\log_2\frac{1}{5}}=2^{\log_25}=5$



カバレージ

• 評価データに現れた単語(n-gram)の中で、モデル に含まれている割合

```
a bird a cat a dog a </s>
"dog" は未知語

<u>カバレージ:</u> 7/8 *
```

* 文末記号を除いた場合は → 6/7



演習問題



演習問題

- 2つのプログラムを作成
 - train-unigram: 1-gram モデルを学習
 - test-unigram: 1-gram モデルを読み込み、エントロピー とカバレージを計算
- テスト入力: test/01-train-input.txt正解: test/01-test-input.txt
- data/wiki-en-train.word でモデルを学習
- data/wiki-en-test.word に対してエントロピーとカバレージを計算
- 来週、その値を報告



train-unigram 擬似コード

create a **map** *counts* create a **variable** *total_count* = 0

for each line in the training_file
split line into an array of words
append "</s>" to the end of words
for each word in words
add 1 to counts[word]
add 1 to total_count

open the model_file for writing
for each word, count in counts
 probability = counts[word]/total_count
 print word, probability to model_file



test-unigram 擬似コード

$$\lambda_1 = 0.95$$
, $\lambda_{\text{unk}} = 1 - \lambda_1$, $V = 1000000$, $W = 0$, $H = 0$

モデル読み込み

create a map probabilities
for each line in model_file
split line into w and P
set probabilities[w] = P

評価と結果表示

```
for each line in test file
 split line into an array of words
 append "</s>" to the end of words
 for each w in words
   add 1 to W
  set P = \lambda_{\text{unk}} / V
   if probabilities[w] exists
    set P += \lambda_1 * probabilities[w]
   else
    add 1 to unk
  add -log_2 P to H
```